

## 資料 データフォーマットの設定例

株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

### 目次

はじめに .....	1
第1章 本書の見方と設定方法 .....	2
第2章 データフォーマットの設定例 .....	3
【例1】データの途中から出力する（データの先頭を削除する） .....	3
【例2】データの後方から削除する .....	4
【例3】データの途中までを出力する .....	5
【例4】データの中間を出力する .....	6
【例5】データの中間にキャラクタやキーを挿入する .....	7
【例6】指定した文字を無効にして（削除して）出力する .....	8
【例7】指定した文字を他の文字やキーに置換して出力する .....	9
【例8】文字の順番を入れ替える .....	10
【例9】指定した文字の前までを出力する .....	11
【例10】指定した文字の後を出力する .....	12
【例11】指定した文字のときのみ読み取る 異なる場合はエラーブザーを鳴らす .....	13
第3章 設定バーコード .....	14
オプション設定 .....	15
付録1 シンボルチャート（抜粋） .....	16
付録2 ASCII 換算チャートとサポートされるインターフェースキー（抜粋） .....	17

### はじめに

本書は一部のバーコードリーダーのデータ編集機能「データフォーマット」の設定事例集です。

対象バーコードリーダー

Xenon 1900/1900h color/1902、1452G2D、1300g、1250g、IT4206(4206g)、3800g

## 第1章 本書の見方と設定方法

第2章にデータフォーマット（データ編集）の設定例があります。お客様が行いたい設定と同等の設定例を確認して下さい。設定例には次のような表があります。

### 【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15桁のみ適用するなら"0015"
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
03	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=カーソルを 3 文字移動。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

この設定を行う方法は、第3章「設定バーコード」から Enter Data Format のメニューを読み取り、プログラミングチャート（英数メニュー）から 0099999999F503F100（赤枠部）と1つずつ順番に読み取り、最後に Save(保存して終了)を読み取ります。このように、他の例も順番に設定バーコードを読み取って下さい。途中で間違った場合は Discard（設定中止）を読み取り、最初からやりなおします。

### ◇お客様が行いたい設定にするには

設定例を参照し、お客様が行いたい桁数やキャラクターの値に置き換えて、設定メニューを読み取って下さい。上記の例はすべてのバーコードシンボルに対し、読み取りデータの1~3桁目を出力しない設定です。1~5桁を出力しない設定を行う場合、設定例の「03」（青枠部）を「05」と読み取ります。その他、バーコードの種類を指定や、文字やファンクションキーの指定を行う場合は各ページのメモを参照して下さい。

## 第2章 データフォーマットの設定例

### 【例1】データの途中から出力する（データの先頭を削除する）

元データ	123ABCDefg
編集設定後の出力データ	ABCDefg
編集の内容	先頭から3桁移動し、そこから（4桁目から）全てのデータを出力する

### 【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にするとQR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15桁のみ適用するなら"0015"
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
03	F5コマンドのnn部。文字数を指定。"03"=カーソルを3文字移動。
F1	送信コマンド。現在の位置からxxキーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1コマンドのxx部。Hexを指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録1または製品のユーザズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えばCode39の行には「0x62」と表示しています。Code39の値は62となります。QR Codeの行には「0x73」と表示しています。QR Codeの値は73となります。

【例2】データの後方から削除する

元データ	123ABCDefg
編集設定後の出力データ	123ABCD
編集の内容	データの後ろから数えて3桁分を削除して出力します。 データが123456なら123と出力します。 データが1234567890なら1234567と出力します。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にするとQR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15桁のみ適用するなら"0015"
E9	送信コマンド。現在のカーソル位置から最後のnn(文字数)を除いた全ての文字を送信する。コマンド指定方法"E9nn"
03	E9コマンドのnn部。文字数を指定。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録1または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えばCode39の行には「0x62」と表示しています。Code39の値は62となります。QR Codeの行には「0x73」と表示しています。QR Codeの値は73となります。

【例 3】データの途中までを出力する

元データ	123ABCdef
編集設定後の出力データ	123ABC
編集の内容	先頭から指定した桁数までを出力する。 ※データの <u>前</u> から数えて 6 桁分を出力します。 データが 1234567890 なら 123456 と出力します。 データが 1234567890123 なら 123456 と出力します。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F2	送信コマンド。現在のカーソル位置から xx キーの後に続く nn(文字数)を送信する。コマンド指定方法"F2nnxx"
06	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。
00	F2 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

【例 4】データの間間を出力する

元データ	123ABCDefg
編集設定後の出力データ	ABCD
編集の内容	先頭から 3 文字移動し、そこから 4 文字を出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
03	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=カーソルを 3 文字移動。
F2	送信コマンド。現在のカーソル位置から xx キーの後に続く nn (文字数) を送信する。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。
00	F2 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

【例5】データの中にキャラクタやキーを挿入する

元データ	123ABCDefg
編集設定後の出力データ	123 (TAB キー) ABCDefg
編集の内容	3文字出力した後、TAB キーを1回挿入。そこから(4文字目から)全ての文字を出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15桁のみ適用するなら"0015"
F2	送信コマンド。現在のカーソル位置から xx キーの後に続く nn(文字数)を送信する。コマンド指定方法"F2nnxx"
03	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=3文字出力。
00	F2 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
F4	送信コマンド。現在のカーソル位置はそのまま xx キーを nn 回を送信する。コマンド指定方法"F4xxnn"
09	F4 コマンドの xx 部。Hex を指定。"09"=TAB
01	F4 コマンドの nn 部。回数を指定。"01"=1回出力。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録1または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー (Tab など) の HEX 値は本書付録2または製品のユーザーズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字 (0~9、A~Z、記号) の HEX 値は本書付録2または製品のユーザーズガイドの「ASCII (アスキー) 換算チャート」を参照して下さい。

【例 6】 指定した文字を無効にして（削除して）出力する

元データ	12345-ABCD、123-ABCD-890 など不特定位置に「-」がある
編集設定後の出力データ	12345ABCD、123ABCDEF、・・・
編集の内容	「-」を無効にする（削除する）。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=すべてのインターフェース
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F3	送信コマンド。現在のカーソル位置から ss(検索/送信)まで送信する。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まる。コマンド指定方法"F3ssxx"
2D	F3 コマンドの ss 部。検索キャラクタを指定。"2D"="-"。
00	F3 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
F8	検索コマンド。現在のカーソル位置より前方にある xx を検索し、カーソルは xx に移動する。コマンド指定方法"F8xx"
2D	F8 コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"
FB	無効コマンド。現在のカーソル位置から最大 15 文字を無効にする。 コマンド指定方法"FBnnxyy..zz"
01	FB コマンドの nn 部。無効にする文字数を指定。"01"=1 文字。
2D	FB コマンドの xx 部。無効にする文字を指定。"25"="-"
E9	送信コマンド。現在のカーソル位置から最後の nn（文字数）を除いた全ての文字を送信する。コマンド指定方法"E9nn"
00	E9 コマンドの nn 部。文字数を指定。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー（Tab など）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字（0~9、A~Z、記号）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「ASCII（アスキー）換算チャート」を参照して下さい。



【例 7】 指定した文字を他の文字やキーに置換して出力する

元データ	123-ABCD-abcd
編集設定後の出力データ	123 Tab ABCD Tab abcd
編集の内容	「-」を Tab キーに置換する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=全てのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
E4	置換コマンド。コマンド指定方法"E4nnxx <sub>1</sub> xx <sub>2</sub> yy <sub>1</sub> yy <sub>2</sub> ..."
02	E4 コマンドの nn 部。置換前と置換後のキャラクタの合計数。 キャラクタは xx <sub>1</sub> と xx <sub>2</sub> の 2 つとなるため値は"02"。
2D	E4 コマンドの xx <sub>1</sub> 部。置換前のキャラクタを指定。"2D"="-"。
09	E4 コマンドの xx <sub>2</sub> 部。置換後のキャラクタを指定。"09"="HT"。 HT はインターフェースキーとしてサポートされ、TAB キーとして出力します。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー（Tab など）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字（0~9、A~Z、記号）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「ASCII（アスキー）換算チャート」を参照して下さい。

【例 8】文字の順番を入れ替える

元データ	1234ABCDefgh
編集設定後の出力データ	ABCD TAB efgh TAB 1234 ENTER
編集の内容	文字の順番を入れ替えて、TAB キーを挿入する。 データの最後に ENTER キーを出力する

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=全てのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
04	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字進める。 出力位置は 4 文字進んで「A」となります。
F2	送信コマンド。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。 「ABCD」を出力します。
09	F2 コマンドの xx 部。HEX を指定。"09"="HT"。 HT はインターフェースキーとしてサポートされ、TAB キーとして出力します。
F1	送信コマンド。コマンド指定方法"F1xx"
09	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。"09"="HT"。 出力位置は「e」です。「efgh」（残りを全て）を出力します。
F7	移動コマンド。カーソルをデータの先頭に移動します。 出力位置はデータ先頭の「1」に戻ります。
F2	送信コマンド。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。 「1234」を出力します。
0D	F2 コマンドの xx 部。HEX を指定。"0D"="CR"。 CR はインターフェースキーとしてサポートされ、ENTER キーとして出力します。
Save	設定終了

**メモ** ファンクションキー（Tab など）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字（0～9、A～Z、記号）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「ASCII（アスキー）換算チャート」を参照して下さい。

【例 9】 指定した文字の前までを出力する

元データ	1234-ABCD、56-EFGHIJ など不特定位置に“-”がある
編集設定後の出力データ	1234、56
編集の内容	“-”（ハイフン）よりも前のデータを出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=全てのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F3	送信コマンド。現在のカーソル位置から、「ss」キャラクタ（検索/送信）の前までを送信します。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まります。 コマンド指定方法"F3ssxx"
2D	F3 コマンドの ss 部。Hex を指定。"2D"="-"（ハイフン）。
00	F3 コマンドの xx 部。指定がない場合は"00"。 参考: ここで Hex の"0D"を指定すると ASCII の"CR"が設定されます。CR はインターフェースキーとしてサポートされ、Enter キーが出力されます。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー（Tab など）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字（0~9、A~Z、記号）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「ASCII（アスキー）換算チャート」を参照して下さい。

【例 10】指定した文字の後を出力する

元データ	1234-ABCD、56-EFGHIJ など不特定位置に“-”がある
編集設定後の出力データ	ABCD、EFGHIJ
編集の内容	“-”（ハイフン）よりも後のデータを出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=全てのインターフェース。
99	フォーマット適用コード種別を設定。 "99"=全種類のバーコード。例："73"にすると QR Code。
9999	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：15 桁のみ適用するなら"0015"
F8	検索コマンド。現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクターを検索し、カーソルは「xx」キャラクターに移動します。 コマンド指定方法"F8xx"
2D	F8 コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"（ハイフン）。
FE	その他のコマンド。現在のカーソル位置のキャラクターをキャラクター「xx」と比較します。キャラクターが同じ場合は、カーソルを 1 つ進めます。コマンド指定方法"FExx"
2D	FE コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"（ハイフン）。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。 参考: ここで Hex の"0D"を指定すると ASCII の"CR"が設定されます。CR はインターフェースキーとしてサポートされ、Enter キーが出力されます。
Save	設定終了

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば Code39 の行には「0x62」と表示しています。Code39 の値は 62 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー（Tab など）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字（0~9、A~Z、記号）の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザズガイドの「ASCII（アスキー）換算チャート」を参照して下さい。

【例 11】指定した文字のときのみ読み取る 異なる場合はエラーブザーを鳴らす

元データ	バーコード種別は JAN13、データは 4512345678906
編集設定後の出力データ	4512345678906
編集の内容	JAN13 かつ 4512345678906 か比較する

【読み取る設定バーコードの順番】

設定バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。"099"=全てのインターフェース。
64	フォーマット適用コード種別を設定。 "64"=JAN13。例："99"にすると全種類のバーコード。
0013	データフォーマットを適用するバーコードの桁数を設定。 "9999"=すべての桁数で適用。例：13 桁のみ適用するなら"0013"
FE34FE35FE31FE32 FE33FE34FE35FE36 FE37FE38FE39FE30 FE36	その他のコマンド。キャラクタの比較。コマンド指定方法"FExx" 例："FE34"=Hex の 34(数字の 4)があるか比較する。同じであれば次に進む。コマンドを繰り返すことで比較し続けます。 4512345678906 の Hex は 34 35 31 32 33 34 35 36 37 38 39 30 36 です。
F7	移動コマンド。先頭に戻る。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータ を出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了
データフォーマット オン 要求あり	指定した文字と同じなら読み取り、異なる場合はエラーブザーを 鳴らす。

**メモ** バーコードの種類を表す値は本書付録 1 または製品のユーザーズガイド巻末の「シンボルチャート」を参照して下さい。例えば JAN13(EAN-13)の行には「0x64」と表示しています。JAN13(EAN-13)の値は 64 となります。QR Code の行には「0x73」と表示しています。QR Code の値は 73 となります。

**メモ** ファンクションキー (Tab など) の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「サポートされているインターフェースキー」を参照して下さい。文字 (0~9、A~Z、記号) の HEX 値は本書付録 2 または製品のユーザーズガイドの「ASCII (アスキー) 換算チャート」を参照して下さい。

### 第3章 設定バーコード



DFMBK3.

Enter Data Format(データフォーマット設定開始)

#### プログラミングチャート(英数メニュー)



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



Save(保存して終了)



Discard(設定中止)

(次のページにオプション設定があります)

## オプション設定

### ◇条件と要求

次のオプションを1つ選択します。

「要求なし」はデータフォーマットで設定していないデータも読み取ります。例えばデータフォーマットでバーコードの種類をCode39に設定したとき、JANも読み取ります。Code39だけがデータ編集され、JANはそのまま出力します。

「要求あり」はデータフォーマットで設定した内容に一致していないバーコードはエラーとなり、読み取られません。例えばデータフォーマットでバーコードの種類をCode39に設定したとき、JANは読み取られません。また、エラーブザーが鳴ります。

「プレフィックス・サフィックスあり」はプレフィックス・サフィックスを出力します。Enter（改行）などを設定している場合はありを選択します。

「プレフィックス・サフィックスなし」はプレフィックス・サフィックスを出力しません。



**メモ** IT4206、3800g は DFM\_EN1. と DFM\_EN2. のメニューのみ設定可能です。

### ◇削除と禁止



## 付録1 シンボルチャート（抜粋）

ユーザズガイドからの抜粋です。データフォーマットでバーコード種別を指定するとき、シンボル（コード種別）の HEX 値を確認します。このほかのシンボルと HEX は各製品のユーザズガイドをご確認下さい。

**メモ** ユーザズガイドは HEX 値を 16 進数（Code 39 なら 0x62）で表示していますが、本書は見やすくするため設定に使う下 2 桁の値（Code 39 なら 62）を表示しています。

### 1 次元バーコード

シンボル	HEX (データフォーマットに設定するコード種別の値)
すべてのシンボル	99
Codabar(NW7)	61
Code128	6A
Code39	62
EAN-13(JAN-13)	64
EAN-8(JAN-8)	44
GS1 データバー標準型,二層型	79
GS1 データバー限定型	7B (メモ参照)
GS1 データバー拡張型	7D (メモ参照)
GS1-128	49
Interleaved2of5 (ITF)	65
UPC-A	63
UPC-E	45

**メモ** IT4206、3800g、初期の 1300g、初期の Xenon 1900 は GS1 データバー限定型と拡張型の HEX が 79 です。

### 2 次元バーコード

シンボル	HEX (データフォーマットに設定するコード種別の値)
すべてのシンボル	99
Data Matrix	77
GS1 Compsite(合成シンボル)	79
PDF417	72
MicroPDF	52
QR コード	73

### OCR

シンボル	HEX (データフォーマットに設定するコード種別の値)
OCR-A、OCR-B、OCR MICR (E 13 B)、OCR SEMI Font、	4F ※SW-19XX-OCR を追加した製品のみ設定可能
ソロモン OCR が対応する英数字、記号(ゴシック体など)	4F ※ソロモン OCR (型番 SOCR) の製品のみ設定可能



## 付録2 ASCII 換算チャートとサポートされるインターフェースキー（抜粋）

ユーザズガイドからの抜粋です。データフォーマットの設定でキャラクタを指定するとき、キャラクタの HEX 値を確認します。

詳しくは各製品のユーザズガイドをご確認下さい。

**メモ** インターフェースキーはAT/XTおよびPS2互換機のキーです。バーコードリーダーがUSBキーボードインターフェースなら、HEX値09はTabキー、HEX値1AはF5キーの意味です。

HEX	キャラクタ	インターフェースキー	HEX	キャラクタ	HEX	キャラクタ	HEX	キャラクタ
00	NUL	Reserved	20		40	@	60	'
01	SOH	Enter(KP)	21	!	41	A	61	a
02	STX	Caps Lock	22	"	42	B	62	b
03	ETX	ALT make	23	#	43	C	63	c
04	EOT	ALT break	24	\$	44	D	64	d
05	ENQ	CTRL make	25	%	45	E	65	e
06	ACK	CTRL break	26	&	46	F	66	f
07	BEL	CR/Enter	27	'	47	G	67	g
08	BS	Reserved	28	(	48	H	68	h
09	HT	Tab	29	)	49	I	69	i
0A	LF	Reserved	2A	*	4A	J	6A	j
0B	VT	Tab	2B	+	4B	K	6B	k
0C	FF	Delete	2C	,	4C	L	6C	l
0D	CR	CR/Enter	2D	-	4D	M	6D	m
0E	SO	Insert	2E	.	4E	N	6E	n
0F	SI	Escape	2F	/	4F	O	6F	o
10	DLE	F11	30	0	50	P	70	p
11	DC1	Home	31	1	51	Q	71	q
12	DC2	Print	32	2	52	R	72	r
13	DC3	Back Space	33	3	53	S	73	s
14	DC4	Back Tab	34	4	54	T	74	t
15	NAK	F12	35	5	55	U	75	u
16	SYN	F1	36	6	56	V	76	v
17	ETB	F2	37	7	57	W	77	w
18	CAN	F3	38	8	58	X	78	x
19	EM	F4	39	9	59	Y	79	y
1A	SUB	F5	3A	:	5A	Z	7A	z
1B	ESC	F6	3B	;	5B	[	7B	{
1C	FS	F7	3C	<	5C	\	7C	
1D	GS	F8	3D	=	5D	]	7D	}
1E	RS	F9	3E	>	5E	^	7E	~
1F	US	F10	3F	?	5F	_	7F	